

# カリフォルニア州で水不足 500年ぶり大干ばつ 経済に甚大な影響

年を下回って推移している。古木の年輪分析などから、約500年ぶりの大干ばつであることも確認された。

人口約3800万人を抱える米国最大のカリフォルニア州は、年間984億ドルの水資源を消費している。これは年間約830億ドルを消費する日本を凌ぐ量だ。

米西海岸のカリフォルニア州が大干ばつに見舞われている。同州では2011年から記録的な干ばつが続いているが、今夏はさらに悪化。深刻な水不足が発生し、経済にも大きな影響が出始めている。

洗車で罰金1000ドル

カリフォルニア州では昨年、年間降雨量が例年の3分の1以下の180ミリと1849年の観測開始以来最低を記録したが、今年は昨



ダムも枯れ果てた(カリフォルニア州のフォルサムダム) Bloomberg

同州の水資源の9割以上は降雨とシエラネバダ山脈などの雪解け水に支えられている。ところが近年の地球温暖化により、今年の積雪量は例年の10〜30%程度。雪解け水が流れ込むサクラメント川などの流量は10年前の約半分に減り、地下水位の低下も著しく、使用可能な水資源は需要量の3分の2にとどまっている。

深刻な渇水に対し、同州のジェリー・ブラウン知事は、すべての水使用者に対し30%の使用量削減を呼びかけている。緊急措置として同州は、庭への散水や洗車での水使用に対し500ドルの罰金を科した。中でも水不足が深刻な州都サクラメントでは罰金が1000ドルに跳ね上がっている。

## 農業、ハイテクに打撃

水不足で直接打撃を受けるのが農業だ。カリフォルニア州は、米国で生産されるレタスなど葉菜類やグレイプフルーツなど柑橘類の約半数と、米国産米の約25%を生産しており、不作の影響は全米に波及する。特に大量の水を消費する米作は壊滅的な被害が予想されている。同州から農産物を輸入している日本にも影響があるだろう。

同州の農業ビジネスの規模は約450億ドル(約4兆

7000億円)。これは米国穀物市場規模の15%に相当する。カリフォルニア大学のリチャード名誉教授は、「干ばつが続くと農作物の作付けができず、1万5000人以上のフルタイム従業員と季節労働者が失業し、17億ドル(約1780億円)もの経済損失が見込まれる」と警告している。

大規模農家らでつくるカリフォルニア農業用水連合(CFWC)は、800万坪(3万2374平方メートル)の灌漑が必要な農耕地のうち、約1割を休耕地にしな

ければこの危機は乗り越えられない、と推測している。州は、緊急措置として農業用水の30%削減と効率的な使用を掲げたが、厳しい節水制限に農業関係者は困惑している。

また、工業分野でも影響が出ている。同州北部のシリコンバレーでは、半導体製造に欠かせない超純水や製造用水が不足しており、ハイテク産業の本社が集まるマウンテンビュー市では非常事態宣言を発した。

このまま干ばつが続け

ば、州内の17都市では60〜120日で水源が空になると見られる。州内の各自治体の中には恒久的な水確保策として、節水を徹底するために、水が不足しやすい夏場に水道料を上げる市も出てきた。また、海水淡水化や下水処理水の再利用、下水処理水を地下注入して地下水を増やす計画もある。ただ、これには多額の資金が必要だ。

その資金源として州議会では現在、水利事業債券(80億〜110億ドル)の法案を提出する準備を進めている。河川水などを水道や灌漑のために継続利用する水利権の価格は、過去5年間で10倍に上昇している。州は債券発行で集めた資金で、水利権を購入・転売し利益を確保する狙いだ。また、同州南部のサンディエゴ市では約1000億円相当の海水淡水化設備を建設している。しかし、完成は16年を待たなければならぬ。州市民には当面、厳しい節水が求められる。

(吉村和就・グローバルウォータージャパン代表)